

ビーカー

1 安全な取扱い方

- (1) 溶液の量は、多くても4分の3程度とし、かくはん時にこぼれたり、加熱時に吹きこぼれたりしないようにする。
- (2) ビーカーの底を持って溶液を注ぐと、溶液が手に付くことがあるので、注ぎ口が外になるようにして、縁の広がりのある部分を持つ。
- (3) 外側が濡れていると滑りやすく、加熱時の破損の原因にもなるため、外側は濡らさないように心掛ける。
- (4) 硬い固体をビーカーの底に直接落とすと破損することがあるので、かくはん子などを入れるときは、ビーカーを傾けてそっと滑らせて入れる。
- (5) 加熱のときは、外側をよく拭き、金網を敷いて加熱する。少量の溶液を加熱するときは、空だきしないように気を付ける。

2 注意事項

- (1) ビーカーは局所的な加熱に弱いので注意する。金属ナトリウムと水との反応などでは、水で湿らせたろ紙をビーカーの底に敷いておく。
- (2) ヒビの入ったビーカーは使用しない。かくはんする際に用いるガラス棒の先には、シリコン管等を付けておくと安全である。
- (3) 小さな砂粒などの上に置くと割れることがある。ビーカーなどのガラス器具を実験台に置くときはそっと置くようにする。
- (4) 水洗後に乾燥させるときは、逆向きにしておく。